

第525回番組審議会報告

開催日 : 令和6年3月27日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/中川愛美 委員/堀内史子 委員/齋藤義紀 委員/兼田徳幸 委員
佐藤善哉 委員/阿部則裕 委員/中村出 委員/ (レポート参加) 相馬佳苗 副委員長

議事内容 : ◎社側報告

1.挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

- 1.番組・視聴率関連 黒須 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長
- 2.報道・制作関連 後藤 取締役メディア情報局長
- 3.番組合評

◇山形いちまる「なんでだろう?山形深ボリ 幕末の米沢で義をたどる」

令和6年2月14日(水) 19:00~19:54 放送

担当:メディア情報局メディア情報センター長 工藤 良一

◎その他

内容:

山形テレビの第525回番組審議会が開かれ、2月14日放送の山形いちまる「なんでだろう?山形深ボリ 幕末の米沢で義をたどる」を合評しました。番組は、テツ and トモが、歴史を紐解きながらその街の魅力を再発見していく街歩き企画。第3弾の今回は戦国武将、上杉謙信を祖とする上杉家の城下町米沢市で、新選組局長として知られる近藤勇の首が米沢市内の寺に埋葬されている?や、明治維新後に内乱を企てたとされる米沢藩の志士・雲井辰雄の再評価などについて深ボりしました。

委員からは、

「これまで知らなかった江戸末期から明治にかけての歴史の一面を知ることができ、面白く見られた」

「番組視聴後、自分で調べ行ってみようと思わせるちょうどよい深掘り具合で良かった」

「地域に根差したメディアだからこそこの番組。県内のあまり知られていないことを県民に知ってもらうという意味では評価できると思う」

「ゴールデンタイムでの放送で皆に楽しんでもらおうとバラエティー色を入れたと思うが教養とのバランスに苦労したのが窺えた。その分伝わらない部分もあったと感じる」

「歴史の経緯や解説する人、訪れる場所が多く煩雑な感があった。テロップの色を変えるなどして分かりやすくする工夫がほしかった」

「今後も続いていくシリーズだと思う。教養、バラエティーのバランスにもう一つ軸を置ければより分かりやすく、楽しい番組になると思う」などの意見がだされました。

以上